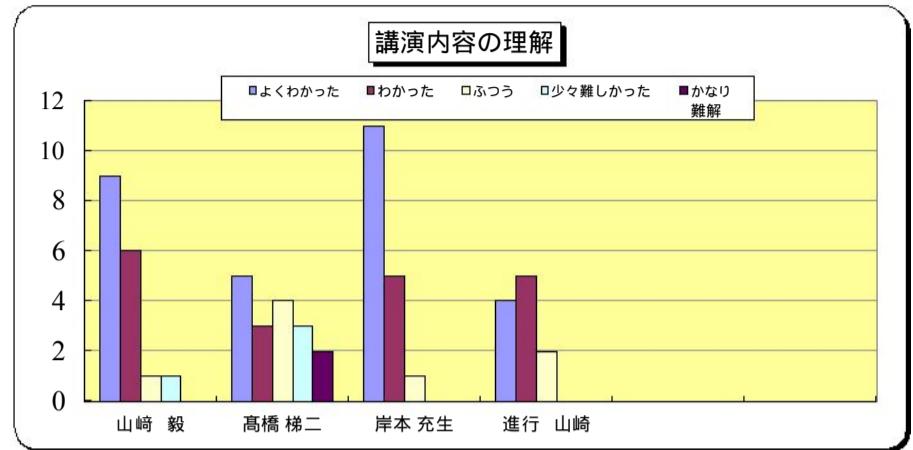


食のリスクコミュニケーション・フォーラム 4回シリーズ  
 テーマ：「食の安心につながるリスコムを議論する」 第1回  
 2014年4月20日(月) 13:00~18:00  
 於 東京大学農学部フードサイエンス棟内 中島重一郎記念ホール

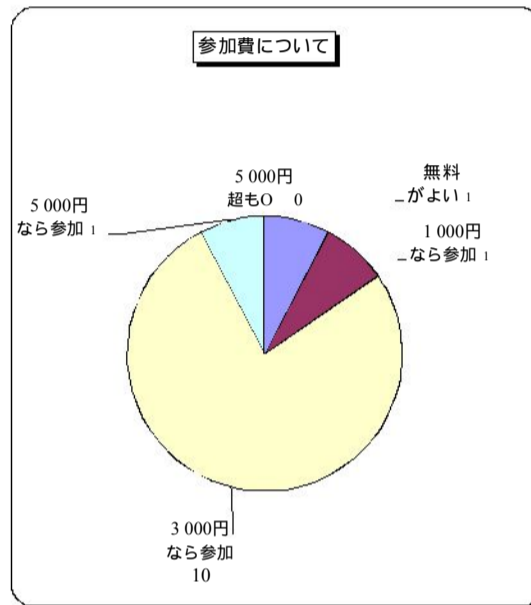


アンケート回収数17枚(参加者:35名、演者3名を除いた回収率:53%)

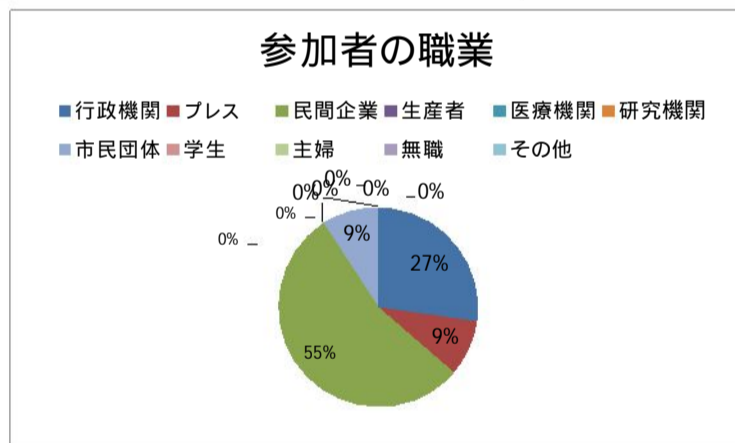
No	テーマ	講師	よくわかった	わかった	ふつう	少々難しかった	かなり難解
1	食品成分自体の健康リスクを検証	山崎 毅	9	6	1	1	0
2	食品の安心と不安をどうとらえるか	高橋 梯二	5	3	4	3	2
3	リスクに正面から向き合うには	岸本 充生	11	5	1	0	0
4	パネル・ディスカッション: 『食の安心につながるリスコムを議論する』	進行 山崎	4	5	2	0	0
5							
6							



	無料がよい	1,000円 なら参加	3,000円 なら参加	5,000円 なら参加	5,000円 超も
今回のフォーラムについて参加費(NPOへの賛助)がいくらまでなら参加されますか?	1	1	10	1	0
今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。	(別紙)				
今後、食の安全と安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか?	(別紙)				
当NPOがあなたにとって有益としたら、どんな事業活動を期待しますか?	(別紙)				
当NPOから季刊誌を発行しておりますが、無料購読を希望される方はあて先(郵便番号・住所・氏名・所属機関等)をご記入ください。	(別紙)				
当NPOから隔月でメルマガを発行しておりますが、無料購読を希望される方はメールアドレスをご記入ください。	(別紙)				



職業	
行政機関	3
プレス	1
民間企業	6
生産者	0
医療機関	0
研究機関	0
市民団体	1
学生	0
主婦	0
無職	0
その他	0



1	食品成分自体の健康リスクを検証	山崎 毅
---	-----------------	------

1	0
2	0
3	0
4	0
5	0
6	アオリング指数というのがおもしろかった。報道を検証するというのは必要だと思います。
7	0
8	0
9	安全と安心について違いが良く分かりました。
10	0
11	会場が寒かったり暑かったりで集中できませんでした。ごめんなさい。
12	0
13	0
14	0
15	0
16	0
17	0

2	食品の安心と不安をどうとらえるか	高橋 梯二
1	0	
2	0	
3	非常に参考になった。安全と安心に対する消費者の理解はこの10年くらいで変化していると思う。以前は両者をそれほど区別していなかったと思う。ゼロリスク志向が26%もあるのは改めて驚く。	
4	テーマと講演内容にかい離があるのではないか。	
5	私も安心は消費者が主体的に判断するものであると思います。	
6	マイクをとおしていただきたかった。	
7	0	
8	0	
9	安心を今後担保する方法の困難さに気付かされました。	
10	0	
11	禅問答のようで、あまり良く「わかった」とはいえない感じです。	
12	0	
13	0	
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容が個人の考え方に近いように感じられた。</li> <li>・わら人形論法があったのではないか。</li> </ul>	
15	0	
16	0	
17	0	

3	リスクに正面から向き合うには	岸本 充生
1	0	
2	0	
3	安全の中には2つあり、一つは基準値作成に関わっている様な専門家が発信する安全と、基準値をどのように受け入れるか社会的要素を含む安全とがあり、両者が混ざりあっている為にわかりにくくなっていると思われる。	
4	0	
5	リスクに対する政策決定においてレギュラトリーサイエンスの重要性が非常によくわかった。	
6	「ゼロリスクはない」というのにA で実質ゼロリスクになっていることにモンモンとしていたので、きょうの話は参考になった。	
7	0	
8	あいまいな部分を新しい切り口で明確になるように解説頂けた。	
9	考え方が明確で主張が一貫しており参考になりました。	
10	国や自治体の研究機関でレギュラトリーサイエンスらしき事をやっていますが、まだ不十分な面があるのではと思った。	
11	もっとリスクコミュニケーションについて深く知りたくなりました。放射線のリスクミわかりにくい場合が多いので、もっとわかりやすくしてほしいです。	
12	0	
13	主旨には共感するが「統計的に10万人に1人にしか起きないから小さい」な考え方は学者の考え方で、そこにビジネスチャンスがあると思った。	
14	0	
15	0	
16	目から「うるこ」的内容で、とても良かったと思います。	
17	0	

4	パネル・ディスカッション： 『食の安心につながるリスコミを議論する』	進行 山崎
---	---------------------------------------	-------

1	0
2	0
3	0
4	0
5	0
6	質問表をかく時間を少しとっていただき良かった。
7	お3人の先生方の講演どれもたいへん興味深く面白かったです。この4月から食品安全委員会の消費者モニター 神奈川県食品表示ウォッチャーになりました。このためリスクコミュニケーションに関して勉強したくて参加しました。昨日、油脂についての講座をしましたが、やはり断片的な知識のみでみなさん判断をしています。消費者はゼロリスクを求めている人、まったく無関心な方と種々です。科学的根拠を絶対と思っている人が多いのを感じます。国や学者の方々は最低の安全目標を決めていくしかないのかなと思います。やはり消費者が各自で判断できて自ら決めていくような消費者教育が必要であると思います。
8	0
9	質問も分かり易い形でフォローして頂き助かりました。
10	0
11	安心は信頼なくしてあり得ないということは良くわかりました。
12	0
13	0
14	0
15	0
16	0
17	0

7	今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。
1	このような会が開かれているのが、はじめてわかった。そもそも論の内容が多かった気がする。
2	講師の質の高さに感銘しました。更にレクチャーの順も良く練られていたと思います。
3	0
4	食の安心につながるリスコミを議論していたのか分からない。
5	0
6	0
7	岸本先生のレギュラトリー・サイエンティストの考え方に心援します。学者のみならず消費者も参画する ようにした方がよいですね。又 Ask for Evidence のサイト日本でも欲しいです。日本メディカルハーブ 協会 野口和子
8	ありがとうございました。考えさせられるセミナーでした。 たいへん参考になりました。
9	ディスカッションは理解が深まり良かったと思います。
10	行政の人間としては有効なリスコミ手法の実例について知りたいと思いました。
11	むずかしいところもありましたが新たな発見もあり、もっと深く学びたくくなりました。今後のフォーラムに もぜひ参加したいです。
12	非常に勉強になりました。
13	勉強になった。また参加させて下さい。
14	0
15	とても分かりやすく有用
16	0
17	大変興味深いディスカッションで勉強になりました。

8	今後、食の安全と安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか？
---	---

1	0
2	0
3	0
4	今後リスコミに関わる者として何ができるか。
5	0
6	0
7	0
8	0
9	0
10	食中毒のリスクについて
11	風評被害をすこしでも軽減するにはどうしたらいいのでしょうか。（福島産というだけで手にとってもらえないとか避けられてしまう）
12	0
13	0
14	0
15	放射性物質
16	0
17	0

9	当NPOがあなたにとって有益としたら、どんな事業活動を期待しますか？
---	------------------------------------

1	0
2	0
3	0
4	・社会に対する発信（自己満足にとどまらないもの）
5	0
6	0
7	0
8	0
9	0
10	リスコミ開催の支援
11	風評被害の軽減対策。（特に首都圏や関西など福島から遠い人たちに向けて）
12	0
13	0
14	0
15	0
16	0
17	0